

この後記は、ワールドカップと静岡で開催された日本理学療法学会大会の終了後に記しています。世界中を巻き込んだ興奮のゲームと、個人的にはある種の高揚感のうちに過ごした学会大会の余韻を楽しみながら本号を読みました。

さて今号の特集は「ファシリテーションは今」といういささかうがったタイトルが付されています。これはもちろん過去を回顧する意味での「今」ではなく、現在と未来をつなぐ地点での「今」であろうと考えられます。まず総論としてその神経生理学的基礎に関して、森先生に詳しく論述していただきました。QOLの保全にかかわる機能のほとんどが脳幹にあるという指摘は興味深いものです。各論では、「関節疾患のファシリテーション(石井論文)」、「ボバース概念(大橋論文)」、「PNFとスポーツ(新井, 他論文)」、「小児中枢神経疾患(小塚, 他論文)」がそれぞれの分野でのファシリテーションの現在について論述されています。石井論文では「膝関節内反アライメントの謎」についての論考に加えて、ファシリテーションの新しい捉え方が提唱されています。大橋論文ではボバース概念に基づく治療における、最近の諸理論との関係について論じられ、特に「他動的」にならない適切な入力とは何か、さらに最新の知見を加えて述べられています。新井, 他論文では、PNFとスポーツに関し固有受容性神経筋パフォーマンス向上にかかわる因子について論じられています。小塚・他論文では小児に対するボバース治療とボイタ治療の双方の例が提示され、しかも両者の統合の可能性はないことが指摘されています。このようにみるとそれぞれの領域での科学的基盤は検証されつつあるように見えますが、その行く先は統合ではなく独自性を深めるものであるとも考えられます。

今号ではこの他、講座、入門講座をはじめ、読み応えのある論文がたくさんあります。特別寄稿では「リハビリテーション医療システムの確立を目指して」というテーマで、安藤先生からリハビリテーション科の意義と役割、多職種との連携について貴重な提言をいただきました。

いまやEBMの流れは奔流のごとく理学療法の世界を席卷しつつありますが、何のために(保険点数のため?)効果の検証が必要なのか、今一度再考するべきではないでしょうか。特に日常的に施行されているであろうファシリテーションについて考慮するとき、足元から固めてゆくべきことがとても多いと感じます。

(網本 和)

●編集顧問●

上 田 敏
五味 重 春
津 山 直 一
福 屋 靖 子
松 村 秩
横 山 巖

(五十音順, 以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
安 藤 徳 彦
内 山 靖
大 川 弥 生
高 橋 正 明
鶴 見 隆 正
奈 良 勲
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
今 橋 光 二
今 川 忠 男
上 田 陽 之
大 峯 三 郎
岡 西 哲 夫
岡 本 慎 哉
菊 地 延 子
木 山 喬 博
工 藤 俊 輔
佐々木 伸 一
佐 藤 剛
佐 藤 秀 一
高 口 光 子
高 田 京 子
寺 山 久美子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 尾 哲 男
長 澤 弘
永 富 史 子
中 村 春 基
橋 元 隆
濱 出 茂 治
備 酒 伸 彦
福 田 恵美子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
宮 本 省 三
諸 橋 勇 彦
八 木 範 彦

理学療法ジャーナル

(第36巻 第8号)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

2002年8月15日発行(毎月1回15日発行)

☎ 113-8719 東京都文京区本郷5-24-3

電話 本誌編集室直通(03)3817-5703

(担当: 平岡・山崎)

定価(本体 1,650 円+税)

(配送料 92 円)

{ 2002 年年ぎめ予約購読料 20,280 円 }
(送料弊社負担)

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

ファクシミリ(03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三 報 社 印 刷(株) ☎(03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

Web http: //www. igaku-shoin. co. jp

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2002, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。

・ JICIS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。